

特定非営利活動法人 防災千葉

千葉市中央区本町 1-6-24 (渡辺コーポ 102 号)

E-mail bosai@bosai-tiba.jp

Homepage <http://www.bosai-tiba.jp>

■ 令和 5 年度通常総会を開催

特定非営利活動法人防災千葉は、令和 5 年 7 月 18 日プラザ菜の花において、62 名の会員の出席のもと、令和 5 年度通常総会を開催しました。この総会には県土整備部長の池口正晃 様をはじめ県土整備部幹部の皆様、および県建設技術センター理事長の渡邊浩太郎 様に来賓として御出席いただきました。



増岡理事長

開催にあたり、まず増岡理事長から挨拶がありました。その中で、「昨年度の活動について振り返ると、8 月～9 月の歩くパトロール、9 月 9 日の震災対策訓練への参加、11 月には土木遺産調査伝承事業、1 月には 3 年ぶりの防災関係の技術研修会の開催、3 月には関東ふれあいの道のパトロール、そして 6 月の土砂災害防止月間では所管の土木事務所の職員の皆さんと協働のかけ点検、その他、栗又の滝遊歩道の安全パトロールや講習会講師の派遣など多くの事業を実施してまいりました。この中で土木遺産調査伝承事業は、先人たちが自然災害防止等を目的として築いた県内の土木施設等について、その歴史的使命や建設の経緯を見聞するとともに、これからの時代を担う若い技術者たちに伝承していくことも目的に加え、千葉県建設技術協会との共同開催で、試行的にスタートしました。今後とも千葉県建設技術協会と連携し意義のある事業として進めてまいりたいと考えておりますので、引続きご支援頂けますようお願い致します。また、当会も今年で設立以来、25 年の節目の年を迎えます。これも、これまでの会員の皆様のご尽力の賜物であり、現在、会員数も 226 名、斜面判定士も 135 名を有し、全国でも有数のボランティア団体となっています。本年におきましても、新入会員 8 名の方をお迎えすることができました。ベテランの会員が多い当会ではありますが、若い人の活力が加わったことで大変心強く思っております。」との話がありました。



池口県土整備部長

来賓を代表し県土整備部長の池口正晃 様からは、「今年度は、梅雨のシーズンに入り、台風 2 号の影響により全国的に大雨が降りました。千葉県でも予想以上の降雨があり、水位がハイウォーター近くまで上がった河川など緊迫した場面がありました。

地震についても、震度 5 強の地震があり、職員全員が参集する県のルールで、朝 4 時過ぎに職員が参集しました。

両方のケースに言えるのですが、滅多に無いような災害を経験して、その時どのような行動をとるのかを、あらためて確認する場になりました。

今回、さらに被害がでていたら、今日のこの場に来られないような大変な状況になっていました。そうならないように、日頃からどういうことが起こるのかということを考えながらやっていきたいと思っております。そういう思考回路を作るためにも、皆様がこれまで経験したお知恵をお借りすることが重要だと思っています。

理事長のご挨拶の中で技術力伝承のお話でしたが、我々の組織の中でも、そこが重要だと思っていますので、引き続き皆様のお力添えをよろしくお願い致します。」との話がありました。



佐藤相談役

また、先の6月1日に開催された「砂防ボランティア全国のつどい」において、当NPOの佐藤正芳相談役が、「砂防ボランティア活動等功労者表彰」を受賞されたことが報告されました。

佐藤相談役は平成23年に当会に入会し、企画部長、事務局長を歴任し、平成29年に理事長に就任され、当団体のかじ取りを務められました。その間、東日本大震災の本県における災害の記憶を次世代の子供たちに繋ぐための防災教育を構想し、出前授業の事業化やその運営に尽力されました。

この「語り継ぐ災害」と題した出前授業は平成25年から9年間続けられ、累計では14市町村、59箇所の小学校等で開催し、受講者総数は4,191名のぼります。このような成果を含め、これまでの多岐にわたる防災活動に長年寄与された功績に対して受賞されました。

佐藤相談役は、受賞の挨拶の中で「NPO活動の中で、一番力を入れていた出前授業への取組が評価され、砂防ボランティア活動等功労者表彰を受賞できたことが本当に嬉しい。」と話されました。

議事は令和4年度の事業報告、収支決算及び令和5年度の事業計画（案）、予算（案）、新入会者の会費の取り扱いについて（案）、役員の選任（案）の6議案がすべて承認されました。

■ 令和4年度事業報告（R4.7.1～R5.6.30）

令和5年度通常総会で承認された令和4年度の「事業報告」は下記のとおりです。

（令和5年度の「事業計画」は4ページに記載しています。）

通常総会	令和4年7月19日 プラザ菜の花にて開催。 出席者217名（内訳：本人出席50名、書面表決102名、表決委任65名）。 令和3年度事業報告及び収支決算報告、令和4年度事業計画（案）、 収支予算（案）及び旅費規程改正（案）が承認された。
役員会・理事会・ 事務局会議	役員会は1回、理事会3回、事務局会議は6回開催した。
令和4年度砂防ボランティア 全国のつどい	令和5年6月1日 富山県富山国際会議場において開催され、2名が出席し、 佐藤正芳相談役が「砂防ボランティア活動等功労者表彰」を受賞。
防災訓練	令和4年9月9日 県土整備部震災訓練に参加。（15土木事務所管内） 県と締結している「災害時における業務協力に関する協定」に基づき、県管理 施設に係る情報伝達訓練等に当NPOから延べ53名が参加した。
防災関係建設技術研修会	令和5年1月19日 プラザ菜の花にて、全国治水砂防協会千葉県支部、千葉県 河川協会、道路協会、NPO 防災千葉による共同開催。 「千葉県無電柱化推進計画」道路環境課 板橋副課長 「一宮川水系流域治水の取組みについて」河川整備課 中村班長 「これからの防災街づくりの考え方」東京大学生産技術研究所 加藤教授 参加者数129名（うちNPO 防災千葉47名）
土木遺産調査伝承（試行）	令和4年11月12日 千葉県建設技術協会と共同開催。 視察箇所：常夜灯、江戸川水閘門、行徳可動堰（市川市本行徳地先） 参加者数30名（千葉県建設技術協会19名、NPO 防災千葉11名）
「関東ふれあいの道」の パトロール	令和5年3月3日「九十九里の砂をふみしめて歩く道」（一宮町）のパトロールを 実施。（参加者数：12名）
会報の発行	会報（40～41号）を会員および県の関係機関、外郭団体等に配布した。 40号（令和4年9月1日発行）700部、41号（令和5年3月1日発行）700部。

あるくパトロール	令和4年8月～9月 県管理の道路を対象に県職員と協働で実施。 (参加者数:38名 13土木事務所)
土砂災害警戒区域等点検	令和5年6月 県、市町村の防災担当者等と協働で実施。 (点検箇所710箇所 参加者数:81名 全土木事務所)
栗又の滝遊歩道安全パトロール	令和4年10月27日 環境生活部自然保護課が実施した安全パトロールに協力参加。(参加者数:2名)

■ 水防訓練への参加



出水期を迎えるにあたり、各土木事務所で水防訓練が行われ、令和5年6月21日には夷隅地域の水防訓練が、いすみ市文化とスポーツの森サブグラウンドで行われました。

出席者は、河川協会夷隅支部長の勝浦市長、道路協会夷隅支部長のいすみ市長を始め、大多喜町長、御宿町長、建設業協会夷隅支部、及び警察署、消防署などから総勢99名が参加し、当NPOからは市川慎一相談役ほか11名が参加しました。

また、令和5年7月4日には香取地域の水防訓練が香取市小見川地先の黒部川河川敷で行われ、香取市、神崎町、東庄町、建設業協会香取支部、香取広域市町村圏事務組合消防本部などから総勢97名が参加し、当NPOからは4名が参加しました。

■ 事業紹介（「関東ふれあいの道」のパトロールの実施）

NPO防災千葉では、平成23年度から関東ふれあいの道のパトロールを行ってきました。令和2年3月以降コロナの影響もあって中止が続いてきましたが、令和4年度はようやく実施することができました。お天気にも恵まれ九十九里浜の砂浜と太平洋の青い海を堪能しながら点検を行い、結果について管理者に報告しました。なお、当事業は令和4年度をもって終了しました。

実施日：令和5年3月3日

場 所：関東ふれあいの道（千葉県15）「九十九里の砂をふみしめて歩くみち」

東浪見駅～太東崎～太東埼灯台～太東海浜植物群落地～江東橋～長者町駅

参加者：12名



■ NPO防災千葉の組織（令和5年7月18日現在）

役員					相談役						
理 事 長	増岡 洋一		理 事	大野 二三男 木邊 實 塩屋 龍一郎							
副理事長	鶴岡 春美 渡邊 芳敏										
			監 事	大湊 一文 松田 善典							
事務局員											
事務局長		土屋 謙		事務局次長		滝浪 善裕					
	総務部		企画部		事業部		広報部		会計		
部長	米良 信雄		鯉渕 彰		根本 嘉生		渡辺 幸男		五十嵐 隆夫		
部員	木邊 實		柴田 利雄		秋葉 利信		石橋 喜久雄		江澤 和夫		
	御園生 孝		中橋 正		湯田 尚登		大野 敏夫				
	平林 利夫		石井 光男		村相 紀雄		水垣 浩				
	吉田 良治		山口 浩		橋本 大義		山本 篤				
	大塚 和裕		長谷川 真澄		御園 直樹		日野 泰宏				
	平野 秀明		岩船 保 竹内 亀代司		神作 秀雄 町田 英之 元吉 博保						
地域幹事・副地域幹事											
地域名		地域幹事		副地域幹事		地域名		地域幹事		副地域幹事	
千葉		松田 善典		田村 規道		海匝		大湊 一文		渡辺 幸男	
葛南		柴田 利雄		神作 秀雄		山武		塩屋 龍一郎		橋本 大義	
東葛飾		山村 繁喜		石井 直樹		長生		山岸 浩一		鵜沢 寛	
柏		伊藤 洋二		一松 政夫		夷隅		鈴木 邦秀		石井 光男	
印旛		岩船 保		日野 泰宏		安房		平野 秀明		小谷 竜一	
成田		前田 善信		松木 久男		君津		村岡 春雄		長谷川 真澄	
香取		秋山 文男		木邊 實		市原		水垣 浩		山本 篤	
銚子		實川 常博		渡部 浩和							

■ 令和5年度 事業計画

1. 砂防ボランティア全国連絡協議会に参加（令和5年11月、令和6年5月）
2. 砂防ボランティア全国のつどいへの参加（令和6年6月頃）
3. 講師の派遣 要請に応じ講師を派遣
4. 防災訓練 県土整備部震災対策訓練に参加予定。（令和5年9月8日）
5. 防災関係建設技術研修会の開催（令和6年1月頃 プラザ菜の花）
6. 土木遺産調査伝承（令和5年11月頃）
7. 会報の発行（第42号（8月）700部、43号（2月）700部）
8. あるくパトロール（令和5年8月～9月頃）
9. 土砂災害警戒区域等点検（令和6年6月頃 全土木事務所）
10. 新たな収益事業の検討

■ 会員の動向

令和5年度入会者数
8名
令和5年度会員数
（7月1日現在）
226名
賛助会員
全国治水砂防協会
千葉県支部